

令和5年10月27日（金）

## アマモ播種作業（種まき）

10月27日に、大島干潟で採取し選別した、アマモの花枝の播種作業を行いました。アマモとは海中に生える海藻のことで、CO<sub>2</sub>吸収能力がとても高く、大気中から海中に溶けたCO<sub>2</sub>が、アマモによって吸収されます。アマモが増えることで、より多くのCO<sub>2</sub>を吸収でき、水質改善だけでなく、地球温暖化対策にもつながり、より豊かな海づくりを実現できます。

### ① アマモの培養

6月頃に採取したアマモの花枝をネットに入れて、海水で培養します。



### ② 花枝の選別作業

①で培養したアマモの花枝を大きさや重さによって、選別していきます。選別した花枝達は、生け簀で播種作業当日まで保管します。







### ③花枝の播種作業準備

花枝の培養が済んだら、花枝をまいたとき種が浮かんでこないように、培養した花枝を腐葉土と混ぜ、ガーゼで包みます。





また、寒天粘土に花枝を練りこんだものも、海に沈めました。

※寒天粘土とは、寒天、水、食品用増粘剤で作られた環境にやさしい粘土で、海に沈めた後、やがて分解されて無くなります。



#### ④ 播種作業開始

花枝をガーゼで包んだ塊が、浮いてこないようにロープと杭を使い地中に固定します。  
寒天粘土のものは、重さで浮いてこないため、固定せずそのまま沈めていきます。





## 大島干潟に生息している生物

大島干潟は、アマモが増え、海のゆりかごとと言われるように稚魚の隠れ家にもなっているため、様々な生物が生息しています。

・モンゴウイ



・ハゼの仲間



・マコガレイ



・マナマコ



・モンゴウイカの卵

